



# 03 港灣・空港



## 新潟港東港区 国際海上コンテナターミナル

新潟港東港区国際海上コンテナターミナルは、本州日本海側で最大のコンテナ\*貨物取扱量を誇り、東アジア、北東アジア等の対外諸国と県内や背後圏地域を結ぶ物流の拠点となっています。現在は、船舶を波浪から守り安全な貨物の荷役作業を確保するため、防波堤整備等の機能向上を進めています。港湾の整備に伴い、背後には工場や企業が立地し新たな雇用の創出、クルーズ船寄港による賑わいの創出など、その波及効果は広域におよびます。

\*コンテナ：貨物輸送の容器



金沢港  
大型クルーズ船寄港に対応した岸壁の整備(石川県金沢市)

## 地域の経済と暮らしを支える「港」

原材料、生活物資、食料、製造品の輸出入等、我が国の貿易量の99.6%を占める港湾。国内外からの空の玄関口である空港。海上輸送網の拠点となる港湾、航空輸送網の拠点となる空港の整備等を担当し、北陸地域の経済と暮らしを支えています。

## 地域を支える、日本を支える北陸の港湾

北陸の物流を担い、北陸の成長・発展を支えています。



伏木富山港  
港湾物流の輸送効率化を目的とした橋梁(新湊大橋)の整備(富山県射水市)



敦賀港  
国際物流ターミナルの岸壁の整備(福井県敦賀市)



新潟港湾空港技術調査事務所 技術開発課 技術開発係

土木 豊島 愛莉  
平成30年度採用

私は、敦賀港、金沢港の防波堤や岸壁の設計、新潟空港の進入灯橋梁の設計、にいがたみなとトンネルの継手や電気防食の調査及び新技術(NETIS)の活用や普及に関する業務に携わっています。防波堤や岸壁の設計供用期間は50年、みなとトンネルや新湊大橋のそれは100年で設計しており、非常に長い期間に渡って多くの人々の生活に関わり、地域経済の活性化につながる仕事だと思うと、構造物の大きさだけでなく、仕事が完了した後の達成感も大きいです。港湾は重要な社会資本であり、その一翼を担っているという使命感を持ち、日々の業務に取り組んでいます。是非、皆さんと一緒に達成感を感じてみませんか。



金沢港湾・空港整備事務所 保全課 検査係長

土木 加藤 真朗  
平成21年度採用

無量寺岸壁の再整備など、工事の現場監督を担当しています。無量寺岸壁は、整備されてから40年以上が経過しており、老朽化対策とあわせて、大規模地震発生時に緊急物資や支援部隊の輸送拠点としての機能を確保できるように、再整備工事を実施しております。工事を進めていく上では、調整事項も多く、苦勞することもあります。地域の人々の暮らしを支えることにつながる仕事に、大きなやりがいを感じています。地域にとって重要な施設であることから、安全かつ適切に工事を進めるということに使命感をもち、日々業務に取り組んでいます。



新潟空港  
大規模地震から空港を守る滑走路の耐震化(新潟県新潟市)



新潟港海岸  
波浪による海岸侵食を防ぐ海岸(突堤)の整備(新潟県新潟市)

FOCUS

港湾を利用する物流に関する企画・立案を担当しています。日本は四方を海に囲まれており、私たちの日常生活に必要な食料や産業を支えるエネルギーなどの99%以上が港湾で取り扱われています。北陸地域に立地する港湾は、対岸諸国の主要港湾と地理的に優位な位置にあり、地域の産業や経済を支える上で大きな役割を果たしています。



港湾空港部 クルーズ振興・物流企画室 臨海部産業係長

土木 浦野 剛  
平成12年度採用

また、今後発生が危惧されている首都直下地震や南海トラフ地震など、大規模災害発生時に太平洋側港湾が一時的に使用できない場合に備え、我が国の物流機能を維持するために同時被災にくい北陸港湾の活用も検討しています。港湾を利用した物流は、生活や産業・経済に直結していることを常に意識して仕事と向き合っています。



大規模災害により長期間利用制限される可能性を想定